

# 令和元年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和2年 3月19日  
札幌市立上野幌中学校

## 1 本年度の重点目標

1 目指す生徒像の共通理解と育成に向けた取組の強化	2 分かる・できる・楽しい「授業づくり」の充実
3 いじめの防止、不登校への対応、命を大切にする指導等の取組の強化	4 健やかな体の育成に向けた取組の充実
5 特別活動・体験的活動の充実	6 組織機能の強化
8 新学習指導要領実施に向けて	7 「つながり」と「発信」を意識した活動の充実

## 2 本年度の経営方針

1 学ぶ力の育成【知】	2 豊かな心の育成【徳】
3 健やかな身体の育成【体】	4 札幌らしい特色ある学校教育の推進
5 特別な配慮を必要とする子どもへの教育	6 信頼される学校の創造
	7 教科等の枠組を越えた教育

## 3 自己評価結果に対する学校関係者評価 学校自己評価〔A:十分達成 B:やや達成 C:普通 D:要努力 E:未実施〕

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
教育課程・学習指導	教育課程は、教育活動を展開するにあたって適切である。	A	学校教育目標や重点目標に向けた教育課程を編成し、適切に実施することができた。また新学習指導要領の研修も深め、理解を高めている。学校の小規模化を踏まえ、校務組織等を改善しているが、職員数の減少に苦慮している。	A	A
	学力向上を図るため、指導方法の工夫に努めている。	B	今年度「アクティブラーニング」について研修を深め、生徒が積極的に深い学びに向かい、自らを高める学習を遂行するように取り組んだ。また「学ぶ力」育成プログラムを用いて、「分かる・できる・楽しい授業づくり」に取り組んでいるが、基礎基本の不足が課題となっている。毎時の反復が重要である。	A	A
	心を豊かにする実践がなされている。	A	新設の道徳科において、生徒が自分の心に触れる取組を推進した。加えて学級活動や行事を通して、級友や社会とのふれあいを多く持たせ、周囲との関わりの中でたくさんを経験し、自らを体験する中で心を育てるようにさせている。	A	A
学校関係者評価委員による意見		教職員の数が減少の中、よく対応していると思います。引き続きサポーターの導入の継続取り組みをお願いします。			
生徒指導・生徒活動	いじめ・不登校・問題行動等に教職員が共通理解を図り、同一歩調で対応している。	A	昨年度改正した、本校のいじめ防止基本方針に沿って、教職員がチームとなって未然防止、早期発見、早期対応に取り組んでいる。不登校対策としても、相談支援パートナー、スクールカウンセラーに加え、特別支援コーディネーターと連携を深め、心の教室への登校を促し、欠席を減少させることができた。	A	A
	豊かな心と健やかな身体を育む努力をしている。	A	「健やかな身体」育成プログラムによって、学校行事や部活動における運動機会の強化に、継続して取り組んでいる。健康に関する指導は、保健や食指導において年間の指導計画に基づいて実施している。今後も、一層充実させるように努める。	A	A
	生徒会の活動の発展・充実に努めている。	A	生徒が学校行事で楽しく積極的に活動できるよう、委員会が主体的に生徒会をリードしている。特に小規模化した委員会での、生徒会行事の充実・深化を図っている。また、生徒によるボランティア等の地域貢献活動を、継続して行っていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見		生徒一人一人に対応ができていると感じました。地域貢献活動を広めていってほしいです。			
地域・PTA	保護者や地域の理解と協力を得るための努力をしている。	B	30周年を越え、より家庭、地域と強く手を携え、地域とともにある学校であることを実感できた。花壇など校地内の環境整備、巡視活動、地域の行事参加などPTAや保護者との協力を深めている。今年度は、PTA組織や運営方法を一部改正し、効果を上げることができた。今後は学年集会への参加を促し、家庭の指導力を深めて、生徒への家庭での対応を高めたい。	B	B
	保護者・地域に学校の取組を積極的に伝えている。	A	学校だよりやホームページで、学校や生徒の様子を定期的に広報することができた。これからも学校行事やPTA活動に、保護者や地域の皆様が気軽に参加できるような体制づくりを進めていく。保護者が安心して中学校に送れる環境を整備する。	A	A
学校関係者評価委員による意見		秋華祭で、卒業生の保護者が多数見受けられました。地域の方と良い関係であると思います。しかし、HPが更新されていない時があり学校の様子を知ることができないことがあった。また、スポーツ系の部活動への加入者が少ないように思います。通学時の交差点見守り等、地域との連携は引き続きお願いします。			

学校関係者評価〔適切である：A 概ね適切である：B やや適切さに欠ける：C 不適切である：D〕